

- ◎ 本年のコシヒカリは、5月15日植えで出穂期は7月31日頃となり、成熟期は9月7日頃と見込まれます。
- ◎ 適期に収穫し、品質の良い米に仕上げましょう。
- ◎ 気象変動に強く、高品質な米を生産するため、「ケイ酸質資材」を継続して散布しましょう。
- ◎ カメムシの産卵場所を少なくするため、畦畔の草刈りや、稲刈り後の雑草を防除しましょう。

1 中生品種適期刈取

- ・ 田植時期や地域、水管理により成熟期が異なるので、必ず籾の黄化状況を確認し、適期刈取に努めましょう。
- ・ 「コシヒカリ」は、籾黄化率85~90%で収穫しましょう（右図参照）
- ・ 但し、作付面積が大きい経営体は、籾黄化率80%から収穫を開始し、適期内に収穫を終えましょう。
- ※「富富富」は、籾黄化率80%から収穫を開始しましょう。（コシヒカリでも高温登熟の場合は、同様となります。）

生育の中庸なところで確認しましょう



籾黄化率85~90%
平均的な穂の、上から3,4本目の枝硬の付根の籾(点線内)がすべて黄化した時

刈遅れると胴割米の発生が助長されます。

- ・ クサネムやヒエ等は、収穫前に必ず抜き取りましょう。

2 乾燥・調製作業

稲作情報7号(裏面)を確認ください。

3 ケイ酸質資材と堆肥の施用

- ・ 稲刈り後は、ケイ酸質資材100kg/10aを散布し、地温が高い10月下旬までに耕起し、稲ワラの分解を促進しましょう。
- ・ 堆肥は、土壌中の腐植を高め、保水性や通気性を改善するので、地力の低い圃場に施用しましょう。



ケイ酸質資材、堆肥の施用量目安

資材名	10a当たり施用量
土力源	100kg
灰入りスーパーエスアイ加里	100kg
牛ふん堆肥	1~1.5t
籾がら堆肥	1~2t
鶏糞	75kg

4 収穫後雑草対策

- ・ 水稻の収穫後は、すみやかに畦畔草刈を実施しましょう。
- ・ オモダカ、クログワイ、キシユウスズメノヒエ等の雑草が多発したほ場では、10月上旬までに、ラウンドアップマックスロード50倍液を雑草にかかるよう散布し、2週間後を目安に耕起しましょう。
- ・ ヒエが多発したほ場では、秋または春の耕起前にプリグロックスLを散布することで、種子の発芽を抑制し、その後の雑草発生量を減らすことができます。



オモダカ

=== 熱中症に注意しましょう! ===
・ 作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて水分・塩分の補給、体調確認の声かけを行いましょ。



農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の
地域貢献活動